

経営比較分析表（令和元年度決算）

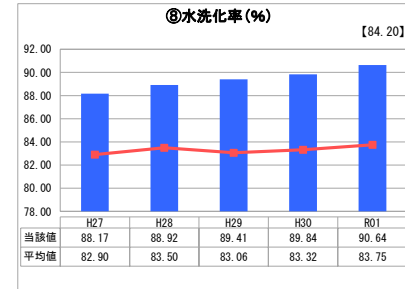
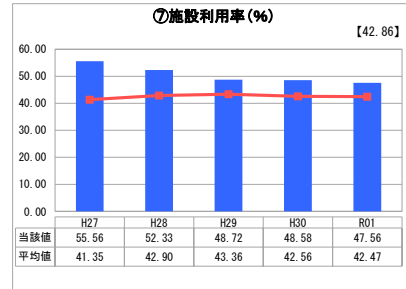
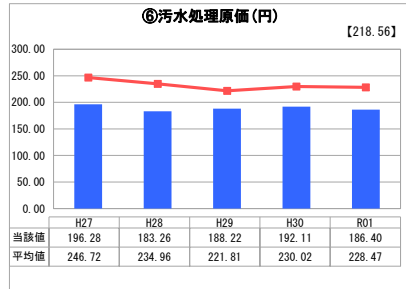
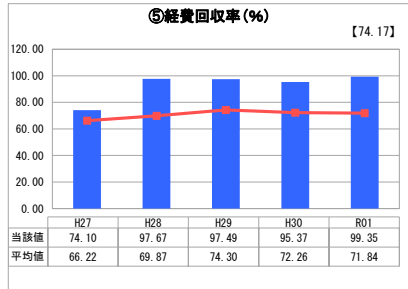
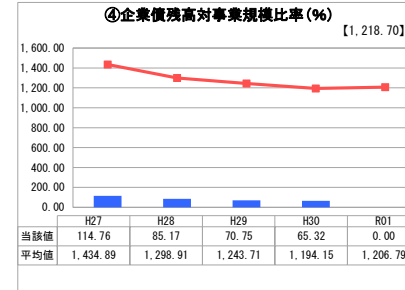
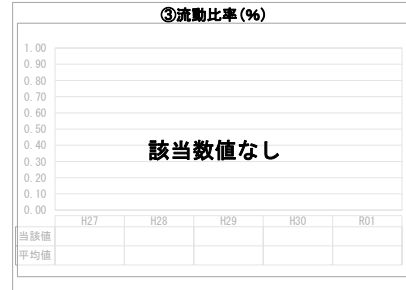
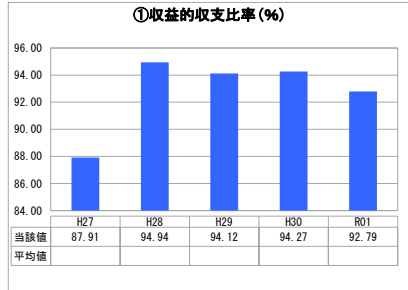
熊本県 苓北町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	78.60	95.74	3,790

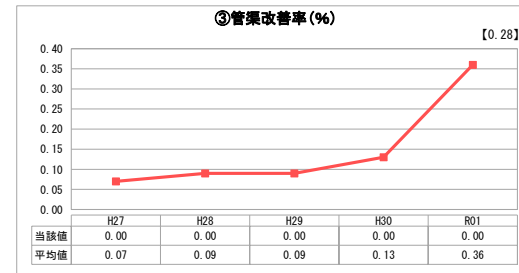
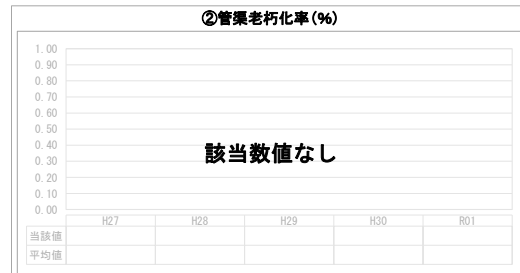
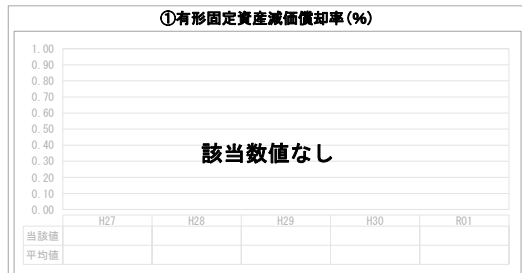
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
7,129	67.58	105.49
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
5,535	2.55	2,170.59

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①について
収益的収支比率は、平成28年度に料金改定を行い改善されているが、減少傾向にある。使用料収入の減少が影響していると考えられる。

④について
企業債残高対事業規模比率は、類似団体より低い水準ではあるが、企業債の償還金は一般会計からの繰入で賄っているのが現状である。

⑤について
経費回収率は類似団体より高い水準であり、使用料収入で維持管理費を賄えている。

⑥について
汚水処理原価が類似団体より低い水準であり、維持管理費を削減しつつ、不明水の流入を解消する必要がある。

⑦について
施設利用率は類似団体より高い水準にあるが低下傾向である。使用量の減少が考えられるため、スペックダウンや農業集落排水事業との統合を検討する必要がある。

⑧について
水洗化率は増加傾向にあり、類似団体より高い水準であるので、今後も加入促進を図っていく。

2. 老朽化の状況について

2. 老朽化の状況の③について
平成6年度に事業に着手しており、管渠の標準耐用年数である50年を経過する管渠がないため、更新等を行っていない。

全体総括

収益的収支及び経費回収率は高い水準で推移しており、維持管理費を使用料収入で賄えているので、安定した経営ができています。
しかし、節水機器が普及等により使用料収入が減少しているため、維持管理に係る経費を抑制し、施設の更新等はストックマネジメント計画に沿って、補助金等を活用しながら行っていく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。